文学科 英語英米文学専攻

トピックス

- 1989（平成元年度）：◇文学科「英米文学専攻」として発足 塚野耕教授が初代学部長に就任
- 1996（平成8年度）：◇英米文学専攻公開講演会 英米文学専攻公開講演会 1・松村昌家氏 2・大井浩二氏 3・織田稔氏
- 1997（平成9年度）：◇英米文学専攻公開講演会 英米文学専攻公開講演会 4・古川隆夫氏 5・小池滋氏 6・河上誓作氏
- 2003（平成15年度）：◇専攻名を「英語英米文学」に改称
- 2006（平成18年度）：◇「英語村Ｅｃｕｂｅ」が開設され、北爪佐知子教授が村長に就任
- 2007（平成19年度）：◇大阪で開催された世界陸上競技大会にボランティア通訳として学生を派遣
- 2008（平成20年度）：◇「英語多文化コミュニケーション学科」の開設に伴い、専攻名を「英語英米文学」に改称。中国語・韓国語が新たに加わる。◇ウインチェスター大学への留学制度開始
- 2009（平成21年度）：◇在大阪総領事　アラン・マッケンリー氏講演会
- 2011（平成23年度）：◇慶応義塾大学教授　巽孝之氏講演会
- 2012（平成24年度）：◇イタリア文学者　原基晶氏講演会 ◇小西酒造社長　小西慎太郎氏講演会
- 2013（平成25年度）：◇駐神戸大韓民国総領事　李成權氏講演会
- 2014（平成26年度）：◇アメリカ文学会関西支部長・京都大学大学院教授　水野尚之氏講演会
- 2015（平成27年度）：◇アイルランド駐日大使・アン・パーリントン閣下講演会 ◇駐大阪大韓民国総領事・河泰允氏講演会
- 2016（平成28年度）：◇「国際学部」設立に伴い、専攻名を「英語英米文学」に改称 ◇アイルランド・ダブリン国立大学ユニヴァーシティカレッジ・コーク学長　ジェル・ハリー教授講演会 ◇芳野まい・東京成徳大学准教授講演会
- 2017（平成29年度）：◇ニューヨーク市立大学クィーンズ・カレッジへの留学制度開始

教員往来

英文学

- 塚野　耕：ロマン派を中心とする英詩の研究 → 1998年度、近畿大学青鞜短大へ移籍
- 清水伊津代：ヴィクトリア朝小説を中心とする英文学研究 → 2010年度退職
- 朝日千尺：D.H.ロレンスの研究およびヴィクトリア朝小説の研究 → 2000年度退職
- 芝　史朗：シェイクスピアを中心とするエリザベス朝演劇の研究 → 2014年度退職
- リチャード・ジョセフ・ケリー：英語史、古代・中世英文学の研究
- 吉田朱美：ヴィクトリア朝小説、イギリス児童文学の研究
- 河村民部：比較文学研究。ロマン派、ヴィクトリア朝文学研究
- 藤澤博康：シェイクスピアを中心とする初期近代英詩、比較文学の研究 → 2011年度退職

米文学

- 常本　浩：トマス・ウルフを中心とする現代アメリカ文学研究 → 2008年度退職
- 辻　和彦：マーク・トウェイン、E. A. ポーを中心とする19世紀アメリカ文学、英文学の研究
- 松本ユキ：アジア系現代アメリカ文学の研究

英語学・英語教育学

- 岡田忠一：英語学研究 → 1998年度退職
- 高木宏幸：英語学
- 北爪佐知子：英語学。語用論、認知言語学。ユーモアの研究
- 小村幹夫：英語教育の理論と実践についての研究 → 1998年度退職
- 春木茂宏：英語学
- ロバート・コワルチェック：英語教育学、国際理解
- 木下真理：応用言語学、英語教育 → 2007年度退職
- 藤永史尚：リーディングを中心とする英語教育の研究
- 「英語多文化コミュニケーション学科」へ移籍

中国語・韓国語

- 福家道信：現代中国文学の研究
- 李　潤玉：韓国語。認知言語学の研究
- 「国際学部」へ移籍　中国語、韓国語の分野が「国際学部」に移る

写真資料その他

Kowakae Review　創刊号

「英米文学専攻」主催講演会ポスター　1996-1997

◆英語村E³

英語村E³は「遊びながら英語を楽しく学ぶ」をコンセプトに、2006年11月に日本の大学で初めてとなるユニークな施設としてオープンした。その創設に尽力されたのは北爪佐知子教授(現・理事)であり、村長に就任された。また、木の菱垣構造が特徴的な建物の基本設計は、岡本清文教授(文化デザイン学科)が担当した。英語村E³はメディアを通して広く発信され、このあと全国のあちこちに設立された「英語村」の先駆けとなった。

木の菱垣構造が特徴的な英語村

学生は誰でも自由に出入りできるが、建物内では英語以外は禁止である。